

企業ニュース ディスコ

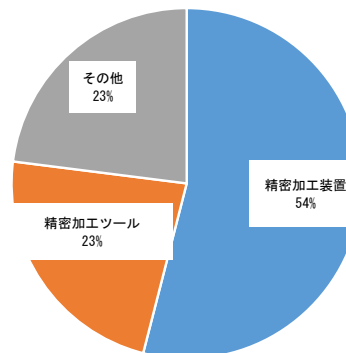
(東証1部 : 6146) <http://www.disco.co.jp/>

作成者 : 兵藤三郎

精密加工装置メーカー

1937年、広島県呉市で「第一製砥所」創業。1969年、米国向け輸出開始、米国法人は社名の英語表記からDISCOを使用。1977年に現社名に変更した。精密加工用の装置及び消耗品を製造販売する機械メーカー。小さく切り分ける（ダイシング）、薄く削る（グラインディング）、鏡のように磨く（ポリッシング）、3種類の加工装置に特化。μm (1/1,000mm) レベルでの切り分け、5μmレベルまでの研削、鏡面のような研磨を可能とし、半導体や電子部品メーカーを主要顧客に事業展開している。精密加工ツールは砥石など装置に取り付ける消耗品（ダイシングブレード、グラインディングホイール、ポリッシングホイール）の事業。半導体製造工程では回路転写前のウェーハ平坦化や、回路形成後の裏面研削、ダメージ層の除去、ウェーハから半導体チップの切断など多くに対応している。

◇21.3期製品別構成比



(出所) ディスコ資料よりCAM作成

受注見通しは減少懸念から一転し高水準で推移する見通し

22.3期・第2四半期（4-9月）の連結業績は、売上高が1,161億円、前年同期比39%増、営業利益が400億円、同71%増。装置販売では、ダイサ、グラインダ共に高水準の出荷が継続、顧客の検収も想定以上に進捗した。消耗品も、顧客の高い設備稼働率を背景に堅調に推移した。業績連動費用（人件費など）は増加したものの、増収効果に加え、為替の円安効果を享受したことなどで補い、半期ベースでの過去最高業績を更新した。7-9月期の受注高は約709億円、顧客からの引き合いは依然高水準で推移している。

22.3期・第3四半期累計（4-12月）連結業績の会社計画は、売上高が1,756億円、同38%増、営業利益が588億円、同60%増。9月15日に行われたミッド・クォーターアップデートにおいて、会社側は新規の引き合いが少し落ちてきたとコメントしたが、結局高い状況が継続した模様。10-12月期の受注も比較的高い状況が維持されると示唆された。半導体不足などの懸念はあるが、現状大きな支障が生じてはおらず、通期では大幅増収増益が見込めよう。

[株価動向・投資判断]

旺盛な半導体需要がけん引し、中期的な業績拡大が期待できる銘柄。生産能力増強投資も一巡し、来期以降も増収継続の期待が高まった。

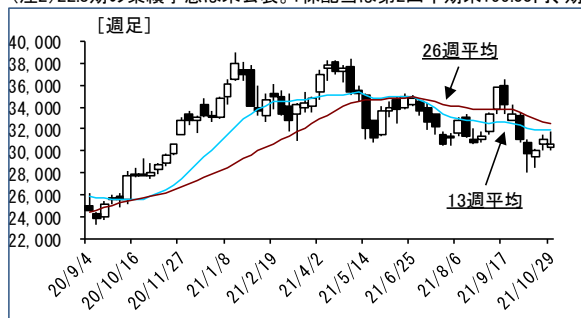
<6146 ディスコ 業績：日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.3	141,083 (-)	36,451 (-)	38,314 (-)	27,653 (-)	769.6	438.00
21.3	182,857 (30)	53,106 (46)	53,629 (40)	39,091 (41)	1,085.5	677.00
22.3 予	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	-	未定

(注1) 20.3期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しているため、伸び率は「-」表示

(注2) 22.3期の業績予想は未公表。1株配当は第2四半期末199.00円、期末は未定



[主要株価指標]		(売買単位：100株)
株価 (2021/10/29)		30,600 円
年初来高値 (高値日)		38,950 円 (21/1/15)
同 安値 (安値日)		28,060 円 (21/10/5)
予想 P E R (21.3 予)		- 倍
1株株主資本 (PBR算出用)		7,202.9 円
P B R		4.25 倍
予想配当利回り		- %
(1株当たり配当金 未定)		
R O E (21.3)		16.4 %
発行済み株式数		3,609 万株